





本県における「第8波」への対応等について（案）

「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」の
期間延長（2/13まで）

資料3

- ▽ 感染者数・病床使用率ともに高止まりの状況が続いているほか、保健医療の負荷の状況も依然高い状況が続いていることから「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」を延長する（延長期間：1月17日～2月13日）
→ 保健医療の負荷軽減と感染抑制のための県民等への要請は内容を変更せず継続する。

取組中のオミクロン株対策

-  ① ワクチンの早期接種
-  ② 教育・保育現場での感染対策徹底
-  ③ 高齢者・障害者施設での感染抑止・事業継続
-  ④ テレワーク・時差出勤等の更なる推進

感染拡大による社会経済活動への影響

- ① 感染・濃厚接触による欠勤者の多数発生
- ② 「濃厚接触者ではない接触者」の多数発生

人との接触機会・人流の増加

- ① 旅行等（全国的な旅行支援）
- ② 季節行事（新年会を含む）への参加

「宣言」中の主な県民等への要請内容（11/30-2/13）※継続

医療体制 機能維持

- ✓ 検査キットによる自己検査の実施（発生届対象外）
- ✓ 救急外来・救急車の適切な利用

感染拡大 防止措置

- ✓ 基本的感染対策の再徹底（特に旅行等、会食を含む季節行事等での徹底）
- ✓ ワクチンの早期接種
- ✓ 旅行等の行動の「節目」において検査を受けること
- ✓ 体調がすぐれない場合の外出等自粛
- ✓ 習い事、友人との集まり等での対策

業務継続 体制確保

- ✓ 多数の欠勤者を前提とした勤務体制の確保
- ✓ 「濃厚接触者ではない接触者」の適切な対応（出勤停止を要請しない）
- ✓ 一時的に業務が実施できない場合の備え